

管理運営を含む新年度予算及び関連四議案並びに一般会計補正予算を可決

複合施設「いちいのホール」オープン

関宿地域のコミュニティや文化活動の拠点として
4月1日よりスタートしました。

「いちいのホール」

いちいのホール改修工事は、平成十五年九月定例会において関宿庁舎改修工事請負契約の締結及び一般会計補正予算の可決を経て、着工されました。また、今定例会において、いちいのホール関連四議案及び平成十六年度一般会計



予算並びに一般会計補正予算が上程され、それぞれ所管の委員会で審査され、本会議において可決されたことにより、四月一日にオープンされました。

また、いちいのホールは、市民にとって身近なサービスをを行う各種窓口機能を持つ関宿支所とせきやど図書館、コミュニティ会館や、さらに関根名人記念館と関宿商工会などの複合施設とされ、名称は市民からの公募により、旧関宿町の木として長年親しまれてきた「いちい」に決定されました。

また、自主的なコミュニティ活動の充実を図ることを目的として、旧関宿町議会議場をイベントが楽しめる一五五人収容できる小ホールに改修されるとともに、和室や集会室が備えられています。

「関根名人記念館」
議案第四号 関根名人記念館の設置及び管理に関する条例を可決。
関宿出身の将棋・十三世名人関根金次郎ゆかりの資料を集めた記念館及び一度に三十五組が対戦できる対局室を設けています。

「関宿コミュニティ会館」
議案第三号 コミュニティ会館の設置及び管理に関する条例の一部改正を可決。
市民の皆さんがごなたでも気軽に開放された憩いの場、ふれあいの場として設けられました。

「せきやど図書館」
議案第十号 図書館設置条例の一部改正を可決。
せきやど図書館には書籍約二万冊を初め、ビデオ、CDなど約三四〇〇点を備え、図書館のほかに郷土資料コーナーも常設するなど、地域の図書館として関宿地域の方々の多くの要望を受けオープンされました。

「関根金次郎名人」
関根金次郎は、一八六八年に現在の野田市東宝珠花で生まれ、幼い頃から将棋の修行を積み、一八九一年に四段免許を取得しました。一九二一年に十三世名人となりましたが、それまでの一世名人制を実力名人制に改めるなど、今日の将棋制度の基礎を築きました。